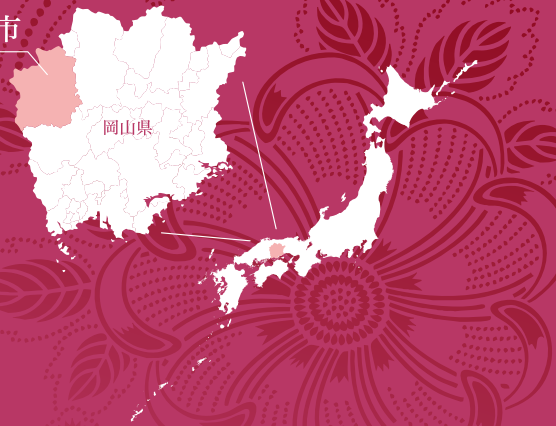


新見市

新見市



人と自然が奏でる 安全・快適・情報文化都市

人と自然が共生し、新たな魅力が日々生まれる新見市。
「新」化し続けるこのまちで、
心豊かな新しい暮らしを見つけよう。

新見市の沿革

新見市は、古代の律令制のもと、高梁川の東側を阿賀郡、西側を哲多郡と呼び、明治のはじめまで砂鉄を溶かすたたら製鉄が盛んに行われていました。

平安時代末期になると、新見庄、永富保などの荘園が整備され、江戸時代には、新見藩、備中松山藩、天領に分割されました。

その後、明治の廃藩置県、昭和の大合併を経て、2005年に旧新見市、大佐町、神郷町、哲多町、哲西町の1市4町が思いをひとつに合併し、現在の新見市が誕生しました。

N i i m i C i t y

観光

時が育んだ絶景と 自然の恵み



▲満奇洞



▲鯉が窪湿原



▲三室峡



▲大佐山オートキャンプ場



▲いぶきの里
スキー場



▼新見千屋温泉
いぶきの里

地球の鼓動を感じ 神秘の自然が体感できる

新見市には、神秘的な光景が広がる鍾乳洞、貴重な湿生植物が自生する湿原など時が育んだ絶景と自然があります。

雄大な自然の中で、パラグライダーやスノーボード、温泉やキャンプなどを楽しむことができます。

新見庄・
歴史文化

ふる 故きを温ねて たず 「新」しきを知る



▲たまがき書状(複製・上)とたまがき像(右)



▲木造千手観音両脇士像(三尾寺)



▲新見美術館



▲太鼓田植



▲御神幸武器行列

新見庄の名残をとどめる 悠久の時に思いを馳せて

平安時代末期から荘園として栄えた「新見庄」。市内各地に往時の名残を残しており、「古代が飛鳥で代表されるなら、中世を代表するのは新見である」と称されています。

祭事や民俗芸能、神社や寺、仏像といった文化財が、脈々と受け継がれてきた歴史と伝統を今に伝えています。

教育・
大学

充実した教育環境で 未来人材を育む



▲ICT活用教育

▲英語教育

先進的な教育が 学ぶ楽しさと主体的な学びを 創造する

認定こども園から中学校まで全てにALTを配置するなど、英語の授業に力を入れているほか、中学校ではiPadや電子黒板を活用した取組を推進しています。

新見公立大学は、看護・保育・介護・福祉の専門人材の養成を目指した教育と地域に根ざした研究を進めています。



▲大学の充実したキャンパスライフ



▲子育てカレッジにこたん



▲大学介護予防活動



▲大学地域文化演習

文化施設・
スポーツ環境

人が集う まなびと健康づくりの拠点



▲まなびの森にいみ図書館エントランスホール



▲新見文化交流館
大ホール



▲げんき広場にいみ
温水プール



▲まんさく運動公園
全天候型テニスコート



▲新見市防災公園
サッカー・
陸上競技場

◀新見ピオーネ
球場

充実した施設で 日々生まれる憩いと交流

「まなびの森新見図書館」と「新見文化交流館」には、学びの場を求めて、多くの人が集い、芸術・文化、生涯学習を通じて、市民の交流が生まれています。

市民協働で、ソフトボールのまちづくりを進めるとともに、サッカー・陸上競技場、温水プールなどのスポーツ施設が充実し、市民の健康増進を図っています。

A級の
誇り

新見の魅力を食す 本物にこだわった逸品



▲キャビア



▲ピオーネ

自然の恵みと匠の技が 「本物」を育む

岡山を代表するブランド黒毛和牛「千屋牛」、昼夜の温度差が濃厚な甘みを生む「ピオーネ」、塩分を控え素材が持つ本来の風味が楽しめる「フレッシュキャビア」、カルスト台地が育んだぶどうから造られた上質な「ワイン」など、新見市の魅力が詰まった特産品を堪能できます。



▲千屋牛



▲ワイン



▲紅茶



▲トマト



クアオルト® 健康ウォーキング

®「クアオルト」は登録商標です。



▲季節を感じながら自然の中をウォーキング



▲ポイントで
血圧・脈拍をチェック



▲「ヤッホ！」で
気分スッキリ！



▲専門ガイドが案内



▲満奇洞の中を
ウォーキング



▼クアオルト
弁当・膳

ドイツ発祥の 健康増進プログラム

市民の健康づくりや健康寿命の延伸を図る取組として、自然環境を活かし、より運動効果が高まる方法で、起伏のある野山を安全に歩く「クアオルト健康ウォーキング」を実施しています。地元食材を使った体に優しいヘルシーな「クアオルト弁当」「クアオルト膳」も販売。観光振興や産業振興とも結びつけながら交流人口の拡大を目指しています。

アクセス

▼車で

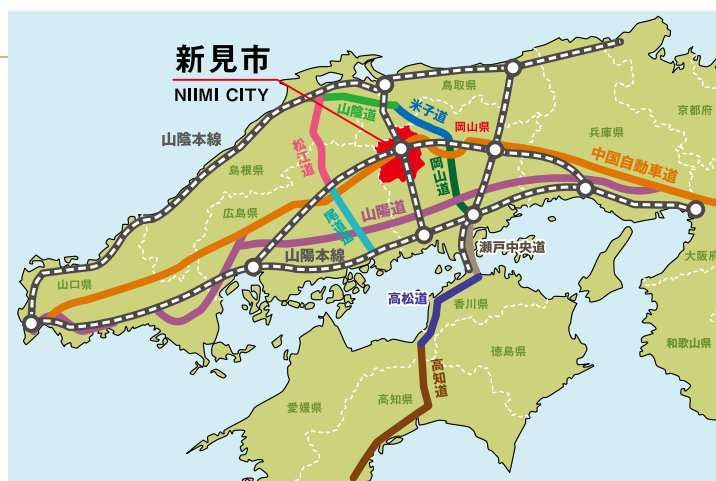
- 中国道中国吹田ICから新見ICまで 約2時間51分(約222km)
- 山陽道広島ICから中国道経由新見ICまで 約1時間49分(約146km)
- 山陽道岡山ICから岡山道経由新見ICまで 約1時間12分(約82km)
- 米子道米子ICから米子道江府IC、国道181・180号経由新見ICまで 約1時間10分(約66km)
- 高知道高知ICから岡山道経由新見ICまで 約2時間54分(約224km)

▼バスで

- 大阪梅田から中国ハイウェイバスで中国新見まで 約3時間50分

▼電車で

- JR新大阪駅から新幹線、岡山駅から特急で新見駅まで 最短2時間11分
- JR広島駅から新幹線、岡山駅から特急で新見駅まで 最短1時間49分
- JR岡山駅から特急で新見駅まで 最短1時間2分
- JR米子駅から特急で新見駅まで 最短1時間7分



新見市マスコットキャラクター



にーみん

頭の葉っぱはピオーネの葉っぱ。体はピオーネのように美味しそうな紫色。背中にはアテツマンサクが咲き乱れ、お腹には桃の形をしたふわふわな毛がある、ピオーネから生まれた千屋牛の子どもです。誰でも親しみやすく、新見市民に愛されてほしいという願いを込めて「にーみん」と名付けました。

新見市シンボルキャラクター

木



▲ピオーネの
「ピオリン」

花



▲アテツマンサクの
「マンサクくん」

いきもの



▲千屋牛の
「チーモくん」